

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビ－藤沢教室			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日		～	2025年 8月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	37
○従業者評価実施期間	2025年 7月 22日		～	2025年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画の作成だけでなく、園や事業所間との連携、相談等において、保護者さまのご意向を伺うための面談を適宜実施していること	・面談の時期を概ね把握し、時期に合わせることやフィードバック時の話から詳細をお話できる時間を設定することで対応している。 ・なるべくゆっくりお話ができるよう、集団支援だけでなく個別支援も行えるよう保護者さまへ提案している。	・予め面談時期を公開し、スケジュールを組みやすいよう工夫する。 ・連絡アプリ（コノベル）にて面談日の案内を出し、ご希望に合わせて実施できるようにする。
2	・支援内容を個々に合わせることで飽きないよう工夫していること	・同じ「微細活動」でも内容を都度変更したり、職員の資格や経歴が様々であることを活かし子どもが楽しめるよう工夫している。	・支援プログラムの流れのみ定着する形にし、内容を毎週変更するなど職員間の共有を徹底し常に新鮮な気持ちで支援に取り組めるようにする。
3	・クラス編成の明確さ	・年齢に合わせたクラス編成と集団参加をご希望される際に何歳児の集団なのかが分かりやすいように設定した。 ・今年度より時間編成が変わったため、集団内容においてもクラスの説明の際にどのような取り組みを実施するのかを紙面でお伝えした。	・次年度の時間割編成において、年齢別に編成し取り組み内容においても明確に設定することで参加したい支援内容をより明確にしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・報連相、情報共有について	・共有すべきことの情報把握における意識を高める必要がある。 ・朝礼、終礼における共有が出勤者が代わることで伝達漏れがあることが考えられる。	・共有時間を設定し、毎週振り返りを行う。 ・情報の把握を確認し、各自が把握していることを朝礼、終礼で確認する。
2	・職員配置の人数と入れ替わりについて	・集団参加における人数配置が適切ではないのではないか。	・課題に合わせて指導員の数を設定。また、職員の支援力向上のために月1回の勉強会を実施し、バラつきのない支援が提供できる体制を作る。
3	・イベント案内等の情報公開について	・コノベルで予定の確認やイベントの確認などの周知がまだ浸透していないことが考えられる。 ・ブログなどの更新が不定期となっていることで発信されている情報が少ないのではないか。	・フィードバック時の次回確認を保護者さまと連絡アプリ（コノベル）を開くことで確認するように徹底し、連絡事項が全員に伝わる体制を作る。 ・イベント案内を2カ月前の提示を心がけ、保護者さまがスケジュールを組みやすいよう工夫する。